

新型コロナウイルスの

罹患後症状(後遺症)について

新型コロナウイルス感染症では、感染してからずっと症状が続いたり、回復した後に新しく症状が出てくる場合があります。このような「**後遺症**」は発症から1年たっても続くことがあります。私たちにできることは、まずは感染しないよう予防に努めること、そして感染した際には、後遺症についても正しく知り、適切に対処することです。

後遺症の例

まだ不明なことも多く
下記以外の症状が出ることもあります。

全身症状

- だるさ（倦怠感）
- 関節痛
- 筋肉痛、筋力低下
- 微熱が続く



呼吸器症状

- 咳、咽頭痛
- 痰が出る（喀痰）
- 息切れ（呼吸困難）
- 胸痛



精神・神経症状

- 記憶障害
- 集中力低下
- 睡眠障害
- 頭痛
- 気分が落ち込む（抑うつ）



その他の症状

- 味覚障害、嗅覚障害
- 動悸
- 下痢
- 腹痛
- 脱毛
- 食欲低下



後遺症とは？

WHO(世界保健機関)は「新型コロナウイルスに罹患した人にみられ、少なくとも2ヶ月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明がつかないもの。通常は発症から3ヶ月経った時点にもみられる」としています。

症状はどのくらい続くの？

後遺症については、世界的に調査研究がすすめられている最中であり、まだ不明な点が多いですが、時間経過とともに症状が改善することが多いとされています。

後遺症かなと思ったら？

現段階では、後遺症の根本的な治療法はなく、対症療法が中心になります。後遺症が疑われる場合は**かかりつけ医**、または**それぞれの症状に合わせた診療科**を選びご相談ください。



※愛媛県の新型コロナウイルス後遺症患者への対応が可能な医療機関はこちら



後遺症の症状や程度、続く期間は人によってさまざまですが、日常生活や社会生活に大きな影響があるものです。家族や職場など周囲の理解も得ながら、適切に受診してください。

参考文献：森岡 慎一郎 “新型コロナウイルス感染症罹患後の遷延症状の記述疫学とその出現・遷延リスク因子に関する報告”
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 2021-10-8 URL 2021-12-14

参考資料：新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメント 2022年10月14日
森岡 慎一郎 “新型コロナウイルス感染症の後遺症” 2021年6月23日（令和3年度第2回安全技術調査会 参考資料1-3）
2021-12-14